

胃がん予防に大きく貢献 胃がんリスク検診を受けましょう

問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎ 53 - 2111 (内線 2433)

記事 ID 0056144

胃がんリスク検診とは、直接胃がんを発見することを目的とした検診ではなく、「ピロリ菌抗体」と「ペプシノゲンの血液検査」を行い、胃がんのかかりやすさを調べる検診です。

ヘリコバクター・ピロリ菌が胃がんの原因として関わっていることも一般的に知られており、ピロリ菌を除菌することで胃がんの予防に大きく繋がるとされています。

対象者

令和5年3月末日時点の年齢が40・45・50・55・60・65・70歳の人
※ピロリ菌の除菌が終わった人、また胃などの病気の治療中の人や胃酸の分泌を抑える薬を飲んでいる人などは検診を受けることができません

検診の受診方法

対象者には、5月下旬に市から受診券を送付します。送られた受診券を持参のうえ対象医療機関で受診してください。

検診料金

1,000円
※二次検査は保険診療により自己負担となります

検診の期間

6月1日(水)～令和5年2月末まで
※新型コロナウイルス感染症の状況により期間が変更になる場合があります

結果通知について

検診の結果については、検査を受けた医療機関から通知されます。詳しい検査が必要となった場合は、医師と相談し受診してください。



健康管理への意識を高めてもらうため 医療費通知とジェネリック医薬品差額通知を送付します

問い合わせ 保健医療課国保室 ☎ 53 - 2111 (内線 2412)

記事 ID 0055193

医療費通知

村上市国保で診療を受けた医療費の総額をお知らせするものです。通知が届きましたら、受診した医療機関、診療年月日、金額を確認し、記載された診療を受けていない場合は担当までお問い合わせください。なお、医療費通知は、医療費控除の申告手続きで医療費の明細として使用することもできます。ただし、12月受診分など通知に記載されない医療費もありますのでご注意ください。

- ▶通知形式：封書
- ▶通知回数：年1回（2月上旬を予定）
- ▶通知先：世帯の世帯主へ国保加入者全員分をまとめて通知



※プライバシー保護などの理由から、世帯員個別での送付を希望する場合はご相談ください

ジェネリック医薬品差額通知(年3回送付)

処方された薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、窓口での負担額がどのくらい安くなるかをお知らせするものです。

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期限が切れた後に製造・販売される薬のことです。効き目や安全性は新薬とほぼ同等ですが、症状やアレルギーなどの体質によってジェネリック医薬品に切り替えられない場合がありますので、切り替えを希望する場合は必ず医師や薬剤師に相談してください。

- ▶通知形式：はがき
- ▶通知回数：年3回
- ▶通知先：受診した本人



大切な医療保障制度のため 療費の適正化にご協力をお願いします

問い合わせ 保健医療課国保室 ☎ 53 - 2111 (内線 2411 ~ 2413)

記事 ID 0007007

国民健康保険（国保）は、病気やけがをしたときに、安心して医療機関にかかることができる大切な医療保障制度です。

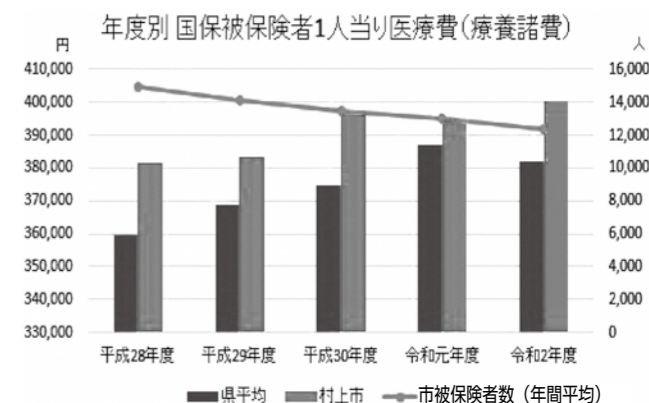
国保から支払われる医療費は、被保険者（加入者）の皆さんの保険税と、国や県、市の負担金などで賄われています。

国保の加入者数が年々減少（令和2年度末で12,374人、対前年度比95%）していますが、加入者1人当たりの医療費は令和2年度で400,488円（対前年比102%）で増加しており、国保の財政運営は厳しい状況にあります。

市では、医療費の適正化に努めていますので、次のことについて皆さんからのご協力をお願いします。

お医者さんに上手にかかりましょう

- ▶休日や夜間受診は緊急のときのみに行いましょう
- ▶かかりつけ医を持ちましょう
- ▶重複受診は控えましょう



お薬のもらい方を見直しましょう

- ▶お薬手帳を1冊にまとめましょう
- ▶お薬のもらいすぎに注意しましょう
- ▶ジェネリック医薬品を利用しましょう

健康診断を毎年必ず受けましょう

- ▶毎年、定期的に受けましょう。病気の早期発見・早期治療ができます

子育てなどで悩んでいる人は オンラインで相談できます

問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎ 53 - 2111 (内線 2431)

記事 ID 0059247

小児科や産婦人科に関する相談をオンラインで行えるサービスを行っています。医師などが妊娠中の悩みや出産のこと、産後の心身の悩み、子どもの健康、子育ての悩みや相談に応じます。

	小児科オンライン	産婦人科オンライン
相談員	小児科医師	産婦人科医師・助産師
相談例	・夜に発熱。病院に行くべき？ ・湿疹が気になる など	・出産を迎えるのが不安。生理不順。 ・母乳が足りているか心配 など
相談の種類	いつでも相談 とき 毎日24時間 内容 ウェブサイトから医師や助産師に質問することができ、24時間間以内に回答します。 夜間相談 とき 平日の午後6時から午後10時 内容 LINE（メッセージチャット、音声通話、ビデオ通話）または電話から相談を受け付けます。1回当たり10分間の予約制です。	
費用	無料（村上市在住の人）	

※無料で利用するためには、村上市民専用の合言葉で会員登録する必要があります。合言葉は保健医療課健康支援室までお問い合わせください

小児科オンライン



小児科LINE公式アカウント
QRコード

産婦人科オンライン



産婦人科LINE公式アカウント
QRコード